

2.2.6 キャリア教育授業の様子

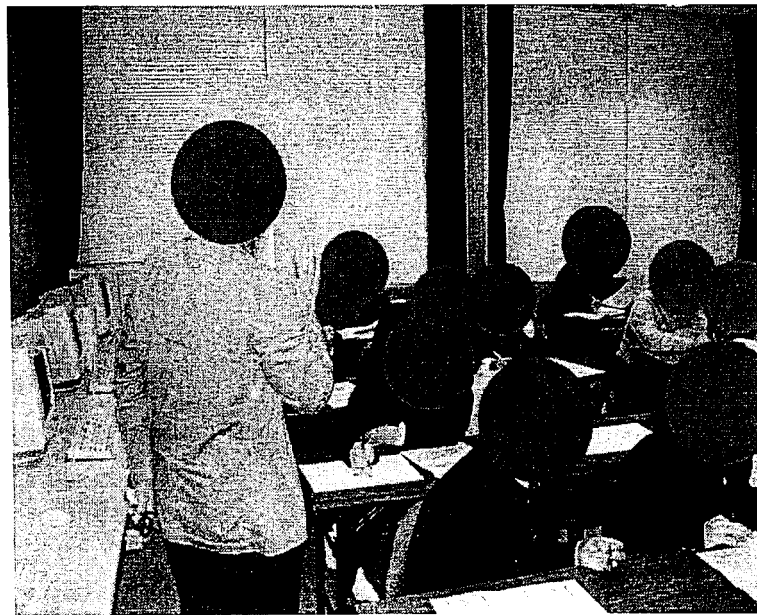


Fig. 12 キャリア教育実践授業風景 A (中学生)

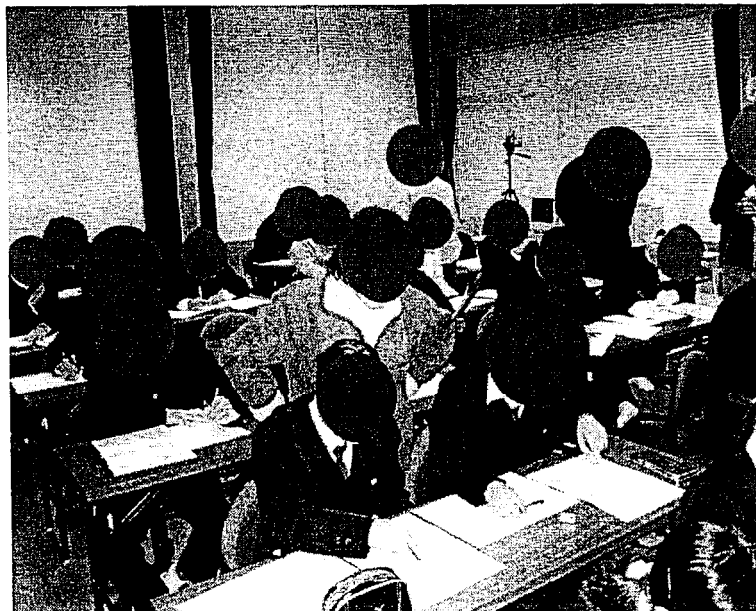


Fig. 13 キャリア教育実践授業風景 B (中学生)

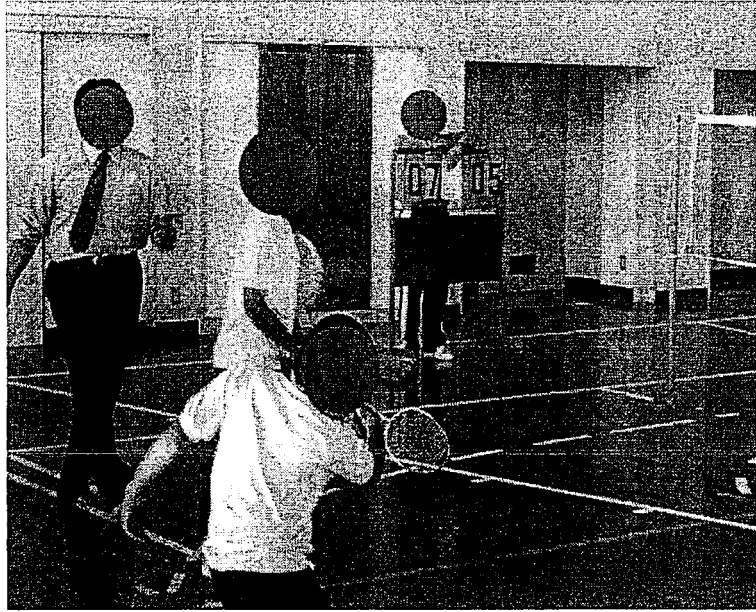


Fig. 14 スポーツ教育実践授業風景 A (小学生)



Fig. 15 スポーツ教育実践授業風景 B (小学生)

2.2.7 キャリア教育授業の生徒評価結果

キャリア教育授業に関する生徒評価は、ワークシートの「6」この授業の評価」及び「7」授業についての感想」より以下のように整理される。

(1) キャリア教育授業の満足度

「この授業は、おもしろかったですか?」という質問の選択肢に対して、「ひじょうにおもしろかった」に5点、「まあまあおもしろかった」に4点、「ふつうだった」に3点、「あまりおもしろくなかった」に2点、「おもしろくなかった」に1点を与えている。

- 1) Fig.16 より、「ひじょうにおもしろかった」(十分満足)と「まあまあおもしろかった」(まあまあ満足)の割合を合算すると54%が、授業に対しておもしろさを感じている。「おもしろくなかった」という割合は、わずか12%である。
- 2) Table5～Table6 より、満足度の平均値は3.6であるので、授業の教育効果は高かったと考えられる。

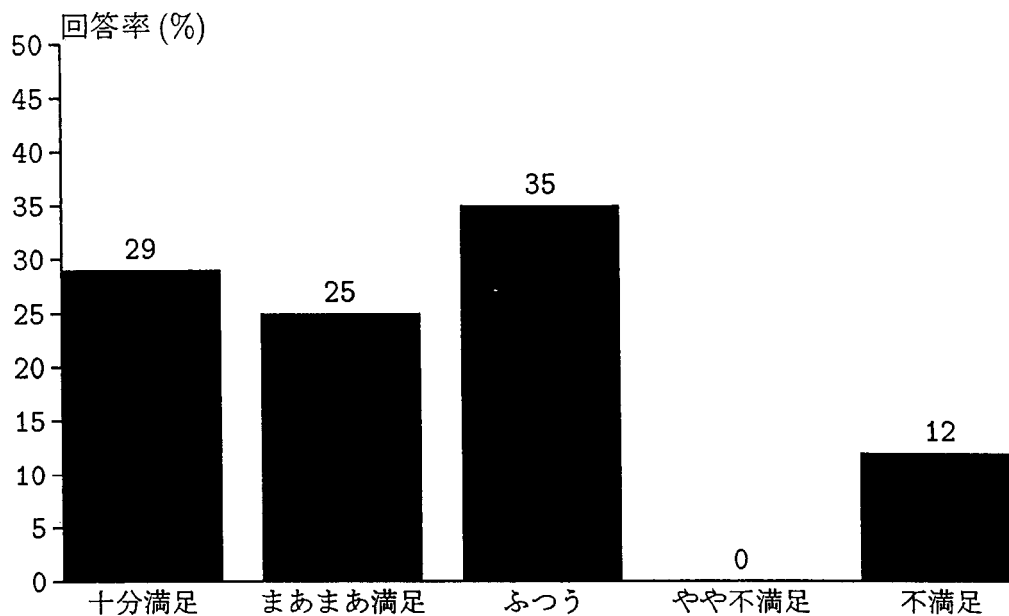


Fig. 16 キャリア教育授業満足度

(2) キャリア教育授業の理解度

「この授業は、わかりやすかったですか？」という質問の選択肢に対して、「ひじょうにわかりやすかった」に5点、「まあまあわかりやすかった」に4点、「ふつうだった」に3点、「あまりわからなかった」に2点、「わからなかった」に1点を与えている。

1) Fig.17 より、「ひじょうにわかりやすかった」（十分理解）と「まあまあわかりやすかった」（まあまあ理解）の割合を合算すると59%が、授業に対してわかりやすいと回答している。「わからなかった」という割合は、わずか9%である。

2) Table5～Table6 より、満足度の平均値は3.7であるので、授業の理解度は授業の楽しさ同様に高かったと考えられる。

生徒へのキャリア意識に関して、以下の生徒の感想に代表されるように大きなインパクトを与えたと考えられる。

(1) S_E の生徒の「6人の人生という勉強をして、将来のことなど勉強となった」

(2) S_O の生徒の「この時間で家族の大切さがわかった。仕事の大切さも分かった。ビデオを見ていろいろな高校のことが分かった。ぼくもビデオの中の人のようにがんばりたいです。ぼくも高校行ってがんばりたいです。仕事についてがんばるぞ。ぼくは、この授業を受けてよかったなあと思っています。この人たちはすごいなあと思った。」

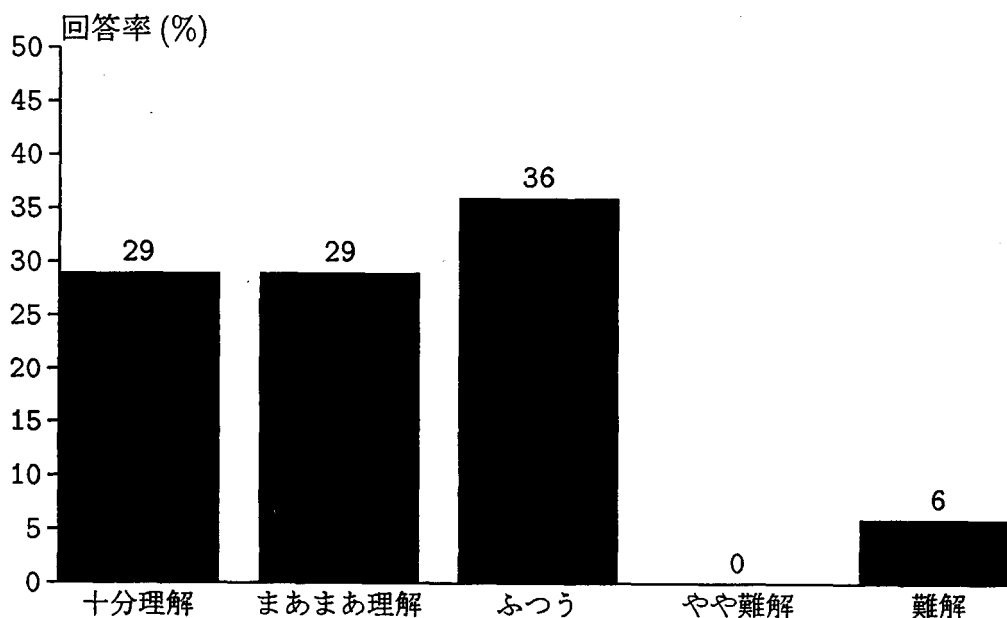


Fig. 17 キャリア教育授業理解度

Table 5 キャリア教育授業評価結果

生徒名	満足度	理解度	感想（自由記述）
S_A	3	3	よくわかった。6人の人生というのがわかった。
S_B	5	5	仕事しながら学校に行くのはしんどいと思った。この授業は何を教えたかったのかわからなかった。はじめにやったやつとか、とくにわからなかった。
S_C	5	5	話し方がよかった。ビデオが聞きにくかった。もっと深くやりたかった。
S_D	3	3	今日は、6人の人生というやつで、いろんなことが書けました。これを生かして高校入試の作文にも頑張っていきたいと思います。
S_E	3	3	6人の人生という勉強をして、将来のことなどの勉強になった。
S_F	3	3	ビデオと人生を見るのが、面白かった。
S_G	4	5	ビデオを見て、定時制高校もいいなと思いました。
S_H	1	3	今日はビデオを見て、しんどい生活をしているなーって思った。
S_I	5	5	すごくがんばって読んでいました。ぼくもあれぐれい読めたらいいなと思いました。すごくはっきりと読めていました。ぼくもはっきりと読めるようになりたいなと思いました。
S_J	3	4	高校にいつているのに、ホストで働くのはすごくしんどいだろうなーって思いました。
S_K	4	4	ホストの人でも高校行きながらガンバっているのが分かりました。
S_L	5	5	（よいところ）ちゃんと考える時間をとってくれた。（ビデオの感想）お母さんがなくなってもがんばっている人がいて、すごいなあ〜と思いました。
S_M	4	4	あともう1こ見たかった。2つ見せてもらった。楽しかった。
S_N	4	4	自分の人生を自分で決めて、学校をやめても、定時制にいつてがんばっていた。

Table 6 キャリア教育授業評価結果（続き）

生徒名	満足度	理解度	感想（自由記述）
S_O	5	4	今日の授業は、考えることができてよかった。この時間で家族の大切さが分かった。仕事の大切さも分かった。ビデオを見ていろいろな高校のことが分かった。ぼくもビデオの中の人のようにがんばりたいです。ぼくも高校行ってがんばりたいです。仕事についてがんばるぞ。ぼくは、この授業を受けてよかったなあと思っています。この人たちはすごいなあと思った。
S_P	3	3	仕事をしながら学校へ行くのはしんどそうだなと思った。
S_Q	3	3	よくわかった
S_R	1	1	よくわからなかった。
平均	3.6	3.7	

2.2.8 キャリア教育授業ミニ音楽会の実施過程

表現力や社会性を高めるキャリア教育授業としてのミニ音楽会の授業の様子は、Fig.18～Fig.24の通りである。ミニ音楽会は、次のように実施された。

- (1) 大学側より、ギター演奏を行える現職教師の大学院生⁸がミニ音楽会を展開した。1時間の授業を活用して、小学生・中学生合同授業を行った。
- (2) 授業は児童自立支援施設側の教師も参加し、全員参加による音楽会となった。
- (3) ミニ音楽会は、次のように展開された。
 - 1) 施設側教師によるギター演奏と合唱から始まった。
 - 2) 教師役の大学院生がギター演奏をしながら、歌を披露し、合唱を数曲行った。
 - 3) 小学生や中学生も参加して、ギターや電子オルガンを弾きながら合唱を行った。
 - 4) 音楽会后小学生対象にギターの簡単な練習を行って終了した。

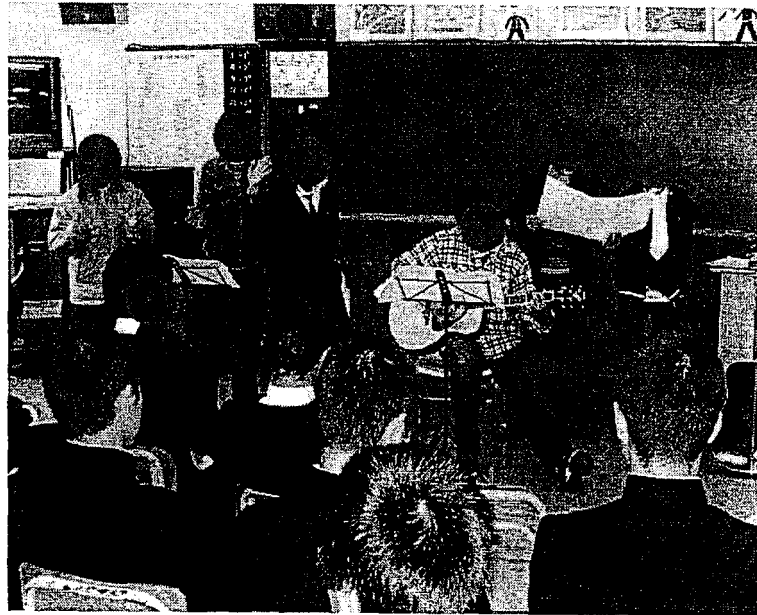


Fig. 18 キャリア教育授業ミニ音楽会 A

⁸ 兵庫教育大学大学院生徒指導講座・小学校教諭の大野誠氏が担当した。

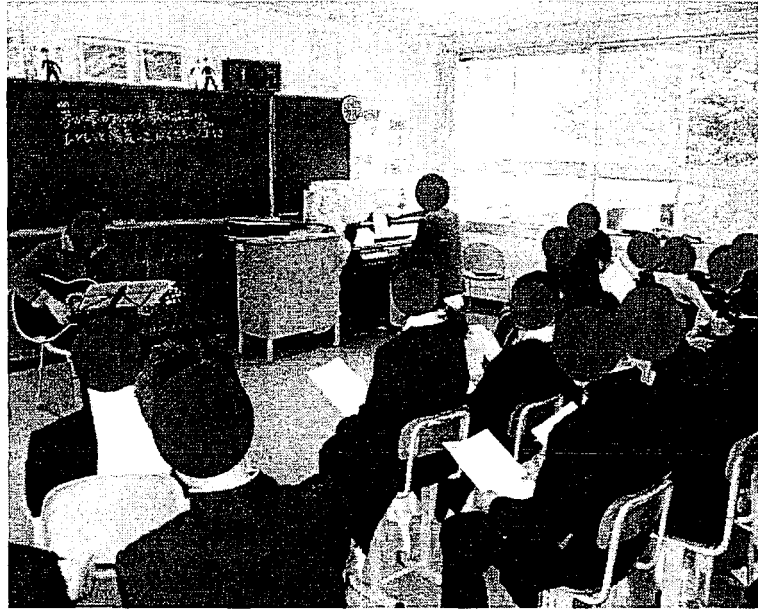


Fig. 19 キャリア教育授業ミニ音楽会 B



Fig. 20 キャリア教育授業ミニ音楽会 C

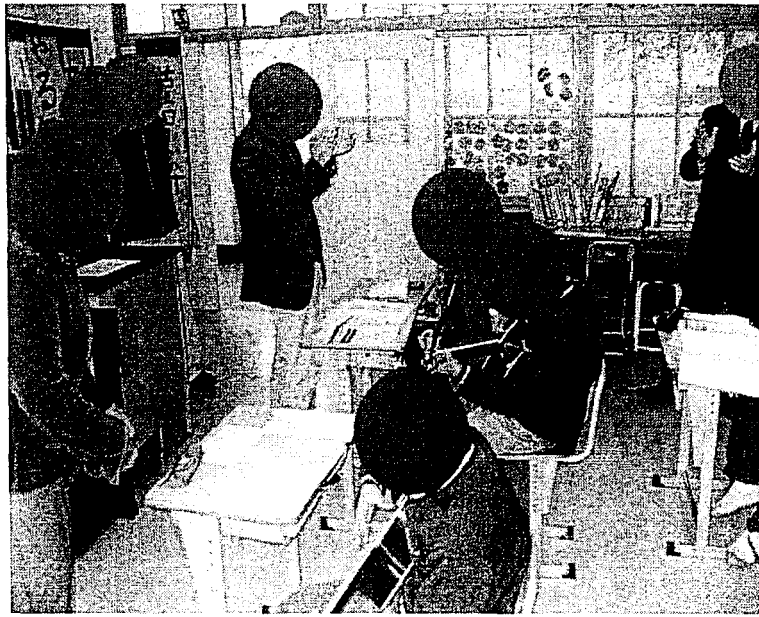


Fig. 21 キャリア教育授業ミニ音楽会 D



Fig. 22 キャリア教育授業ミニ音楽会 E



Fig. 23 キャリア教育授業ミニ音楽会 F

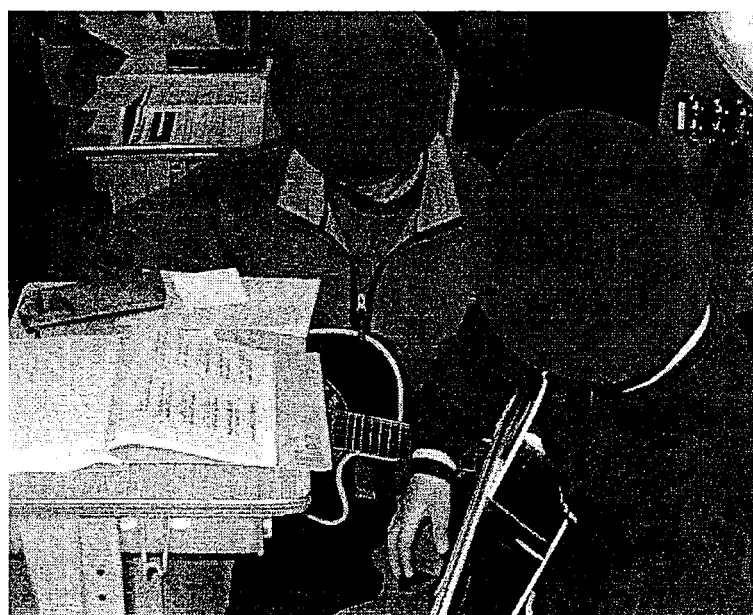


Fig. 24 キャリア教育授業ミニ音楽会 G

2.2.9 キャリア教育授業ミニ音楽会の生徒評価

ミニ音楽会に対する生徒の感想は、Table7の通りである。感想から、以下の点が指摘される。

- (1) 全体的には、音楽会は生徒にとって楽しかったようである。感想ではでていないが、音楽会の観察では特に中学生は恥ずかしいのか手や体でのリズムとりや合唱に乗り切れていない様子だった。ただ、 S_B の感想のように、態度には出せなかったが楽しかったという生徒も多いと思われる。
- (2) ミニ音楽会では、小学生の生徒がギター演奏や電子オルガンを演奏するなど非常に積極的な場面が見られた。この点は、中学生への刺激になったと思われる。

Table 7 キャリア教育授業ミニ音楽会評価結果

生徒名	感想 (自由記述)
S_A	すごく楽しかったと思いました。
S_B	またしてほしいなと思いました。態度に表すことができませんでしたが、すごく楽しかったです。すごいかっこよかったです。
S_C	あまあ楽しかった。
S_D	いろいろな歌を聞いてよかった。
S_E	微妙。どっちかって言ったら楽しくなかった。もっと歌をハキハキ歌ってほしい。
S_F	別に楽しいとも思わなかったけど、楽しくないとも思わなかった。
S_G	はい。楽しかったです。もう少し中学生が知っている曲が聞きたかったなと思います。
S_H	ギターの形が変わっていたのでびっくりしました。歌っている人が歌が上手だったのでよかったです。それに、歌のプリントを配ってくれたので一緒に歌うことができたのでよかったです。
S_I	いろいろな曲を聴けてとても楽しかった。
S_J	知らない曲ばかりでつまらなかった。
S_K	もっと知っている曲にしてほしかった。
S_L	初めて聞いて、初めて見たギターはかっこよかったです。音楽は好きなので楽しかったです。
S_M	初めて聞いた曲や見たこともないギターが見られて楽しかったです。ギターが好きだったから、聞いていておもしろかったです。
S_N	楽しかった。タンポポという曲、歌がすごくよかったです。
S_O	楽しかったです。何が楽しかったかは、みんなで歌えたことがよかったです。
S_P	一緒にギターを弾いたので楽しかった。わくわくしたりした。